鵜舟

病院広報
うぶね
UBUNE DECEMBER 2014 Vol.22
2014年12月1日
岐阜大学医学部附属病院

目次 -CONTENTS-

特集1 「医学部・同附属病院移転10周年記念式典」の開催 …… 1
特集2 病理診断科開設について ／ 遺伝子診療部が開設されました …… 2
●最先端医療紹介　乳腺トモシンセシスの導入と実績 …… 3
●薬剤コラム　点眼薬の正しい使い方 …… 4
●栄養コラム　「日本人の食事摂取基準 2015年度版」について …… 4
●連載　医楽のススメ …… 5
●看護部コラム …… 5
●位置図・医療連携センターの紹介・病院へのアクセス・病院駐車場のご案内 …… 6

特集1 「医学部・同附属病院移転10周年記念式典」の開催

岐阜大学医学部附属病院長　小　倉　真　治

▲謝辞を述べる小倉病院長

▲移転後の歴代病院長の座談会

▲会場の様子

▲医学部室内合奏団による演奏

岐阜大学医学部附属病院は国立大学の法人化と時を同じくして、平成16年春に司町から柳戸に新築移転いたしました。本年が移転10周年になります。偶然ではございますが、私自身もその前年に岐阜大学に救急・災害医学分野が設置されたときにこの病院に戻ってまいりましたのでこの10年の大学病院の変遷をつぶさに目の当たりにしてきたことになります。

私が平成15年10月に赴任してきたのはまだキャンパスが司町にある頃で、日本一狭くて汚い医学部といわれておりました。新設講座の救急・災害医学には教授室もなく、名誉教授室を急遽改装して教授室にしたことを昨日の様に覚えております。

ちょうど、昨日、11月22日（この原稿を書いている11月23日の時点では）に司町のキャンパスの跡地が岐阜市のメディアコスモスという知の拠点に生まれ変わるためのイベントがあり、私も参加いたしました。まさに学生時代の汗と涙、教授として戻ってきたときの思い出で少しうるっといたしました。

さて、平成16年6月に新設なった岐阜大学医学部附属病院は当時の北島病院長の下、日本一のインテリジェントホスピタル、日本一の救急医療を標榜した大きく豪華な建物に生まれ変わりました。巨額の借金を返す必要があるという噂は聞こえておりましたが、当時は実感もありません。まあ、今まさにその苦労に直面しているわけですが、北島先生以下森脇、岩間両先生のご苦労はいくばくだったかと想像しておりますが、私も何とかこの病院を守ろうと決意しております。

10年一昔とはよく言ったもので、さすがに当時最新の建物も時代が変わり、現代の医療から見ると使い勝手の悪さが随所に目立ってまいりました。それを補うためにまず北診療棟を新設し、がん化学療法室、光学医療診療部を移動させました。それにとどまらず、時代にあった診療に適合するような施設、組織の整備が今後必要になってくると考えております。

この文をお読みの皆様方のご支援が岐阜大学医学部附属病院の次の10年には必須でございます。よろしくお願い申し上げます。

病理診断科開設について

病理診断科長　宮﨑　龍彦

皆さん、「病理診断」をご存じですか？体から採取した病変の組織や細胞から標本を作り、それを顕微鏡で観察して診断するもので、最終診断として治療方針決定にも大きな役割を果たします。これを行うのが病理医です。これはれっきとした医行為で、専門医制度もあります。病理診断の重要性は増しており、2008年4月に、病理診断科の標榜（外来の設置や開業）が可能になりました。

当院でも、ようやく病理診断科を設置することができました。これまでの病理部所属の医師、大学の病理学講座所属の医師が引き続き病理診断を担当しますが、それに加えて、皮膚科・腎臓内科等の医師も病理診断科に参画し、それぞれの専門分野について、病理診断の一部を担当します。病理診断報告書は、最終的に病理専門医がすべてダブルチェックして発行します。

診断科として標榜したことにより、病理外来を設けることができるようになり、外来を設置いたしました。これにより、病理医との面談を希望する患者さんが病理医に直接会って、病理診断の中身を丁寧に説明してもらったり、セカンドオピニオンを聞いたりすることができるようになります。これまで縁の下の力持ちであった病理医は「患者さんに顔の見える病理医」としてチーム医療に貢献します。最初は、病理診断科所属の医師1名が週1回、月曜日の午後に2時間だけ枠を設定して病理外来を運用します。

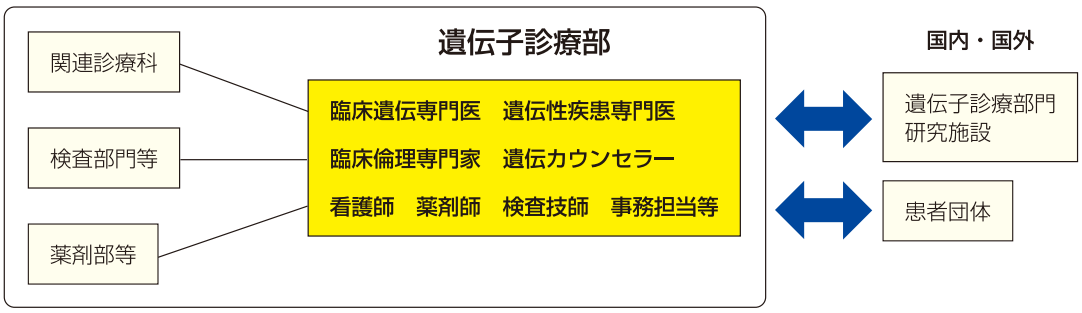
遺伝子診療部が開設されました

遺伝子診療部長　深尾　敏幸

10月1日、専門医療・日常医療としての遺伝子医療の実現を目指して、遺伝子診療部が開設されました。

昨今のヒトゲノム・遺伝子解析研究の進歩は著しく、最近では、新しい新生児スクリーニング検査、母体血による出生前診断、乳がん遺伝子診断・予防的乳房切除などへの対応も迫られる現状があります。当院においては、これまで、関連するいくつかの診療科の協力により、各種診断・カウンセリングなどを施行してきましたが、上記現状と将来の遺伝子医療に対応すべく、今回、遺伝子診療部を開設することになりました。

基本方針として、１）患者さん・ご家族に最善の情報と医療を提供できる専門のセンターとしての活動　２）遺伝子診療に関連する倫理的・社会的な支援体制連携　３）将来を担う専門医師・看護師・遺伝カウンセラー等を育成します。診療部は、①遺伝子診断前の相談、②家族へのカウンセリング、③遺伝子診断法選択と結果についての説明、④遺伝子診断後の治療方針決定支援などにおける、遺伝子診療のコーディネート役を務めるなどの関連業務を行います。今後、国内外の遺伝子診療部・関連学会・研究施設などとの連携を深め、診療の充実を行っていきます。皆さんのご支援を何卒よろしくお願いします。



最先端医療紹介

乳腺トモシンセシスの導入と実績

放射線科　大野　裕美

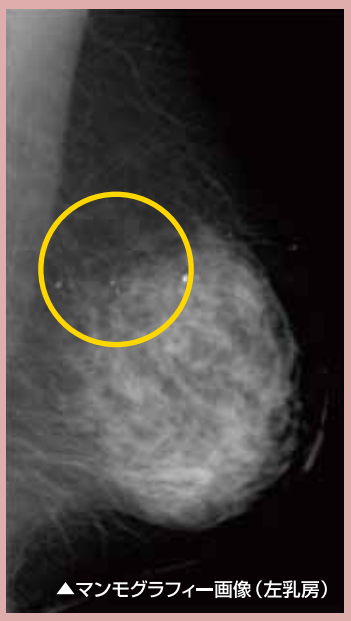
当院では、2013年3月に次世代のマンモグラフィー装置を導入し、従来のマンモグラフィーに加え、2014年9月現在までに約300例のトモシンセシス撮像を行いました。今回は、その新しい撮像装置の導入と実績についてご紹介いたします。トモシンセシスとは、近年世界的に注目されている最先端の乳房画像撮像技術です。従来のマンモグラフィーと同じ装置を用いて、マンモグラフィー同様に乳房を圧迫した状態で撮像しますが、撮像中に装置が回転し、様々な角度から画像データ収集を行います。これにより、従来のマンモグラフィーと比較して、より詳細な断層画像によるＸ線検査が可能となります。従来のマンモグラフィーでは圧迫した乳腺全体の陰影に小病変が隠れることがありましたが、トモシンセシスでは乳腺を1mm厚の断層像で観察することができ、微小な病変の検出が可能になります。

現在では主に検診や触診で乳腺腫瘤が疑われた患者さんにトモシンセシス撮像を積極的に行っています。検診のマンモグラフィーで乳がんが疑われた場合でも、トモシンセシス撮像を行うことにより、乳腺の重なりによる偽病変であることを確認できることも多く、不必要な追加検査や侵襲的な生検を避けられる場合があります。また、マンモグラフィーでは指摘困難であった病変がトモシンセシス撮像によって明瞭に描出され、適切な早期治療に結びついた症例なども経験しており、今後も乳腺診療での活躍が期待されます。

マンモグラフィー装置と
検査担当女性スタッフです。

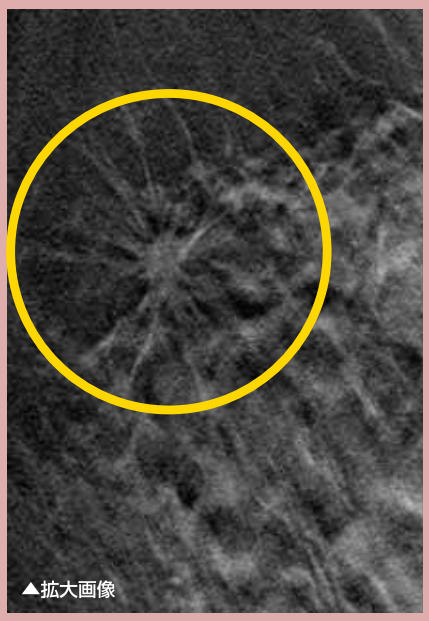
♠. 実際の症例

70代女性．定期検診のマンモグラフィーにて淡い陰影を指摘され、トモシンセシス撮像が追加されました。マンモグラフィーでは、異常所見の検出が困難でしたが、トモシンセシスでは左乳房に7mm大の乳がんを疑う病変が明瞭に描出されました（丸枠）。精密検査の結果、乳がんと診断され、手術が施行されました。



▲マンモグラフィー画像（左乳房）

▲トモシンセシス画像（左乳房）



▲拡大画像

薬剤コラム

点眼薬の正しい使い方

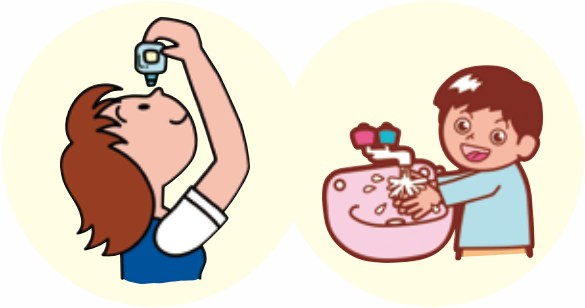
薬剤部　岡安　伸二

眼疾患に対して、個々の病態や重症度に応じて、点眼薬、内服薬および注射薬などが使われます。中でも眼局所に直接作用する点眼薬は、市販薬も含め多くの種類が発売されています。

ところで、点眼薬を皆さんは普段どのように使っていますか？

当院では、眼科病棟に入院している患者さんに対して、正しい点眼薬の使い方について理解してもらうことを目的とした点眼教室を毎週開催し、薬剤師が指導を行っています。

皆さんも右の表に注意しながら点眼するよう心掛けてください。



点眼の順番

①下まぶたを軽く引いて下さい。

上まぶたを引くと眼を押さえつけてしまう恐れがあります。

②点眼薬の先が、まつ毛・まぶたにつかないようにして下さい。

点眼薬がまつ毛・まぶたに触れてしまうと、容器の中のお薬が汚れてしまいます。

③１回に１滴点眼して下さい。

たくさん点眼しても眼の外にあふれてしまうか、目頭にある涙点という穴から身体の中に流れてしまいます。必要のない作用が出ないように、１回１滴で点眼するようにしましょう。また、あふれ出たお薬は清潔なティッシュで拭き取りましょう。

④点眼後はしばらく目を閉じてください。

お薬がよく効くように点眼した後は、少なくとも１分以上軽くまぶたを閉じるようにしましょう。頻回にまばたきをすると、せっかく眼に入ったお薬が、涙点から身体の中に流れてしまいます。

⑤２種類以上の点眼薬を使用する場合は５分以上間隔を空けて下さい。

十分間隔を空けずに点眼薬を使用すると、後から使った薬が前の薬を洗い流してしまい、効き目がなくなってしまいます。

栄養コラム

「日本人の食事摂取基準 2015年度版」について

栄養管理室　田村　孝志

厚生労働省は、国民の健康の保持・増進を図る上で摂取することが望ましいエネルギー及び栄養素量の基準として「日本人の食事摂取基準」を5年ごとに改定しています。

【主な改定のポイント】

1）策定項目に、生活習慣病の発症予防とともに「重症化予防」を加えた。

2）エネルギーの指標について、「体格（BMI:Body Mass Index)」を採用した。

＊エネルギーの指標を「カロリー」から「BMI」
現在の基準では、年齢や性別、身体活動レベルからエネルギー必要量を決定しており、身長の低い男性や身長の高い女性などへの対応がしにくいという点を改善するために、エネルギーの摂取量及び消費量のバランス（エネルギー収支バランス）の維持を示す指標として、身長と体重から算出する「体格（BMI)」を採用した。【表1】

3）生活習慣病の予防を目的とした「目安量」を充実した。

＊塩分摂取量の目標量について、高血圧予防の観点から、男女とも低めに設定

18歳以上男性：
2010年度版 9.0g/日未満 → 2015年度版 8.0g/日未満
18歳以上女性：
2010年度版 7.5g/日未満 → 2015年度版 7.0g/日未満

さて、皆さんも一度自分のBMIを算出し、値が目標範囲を下回っていれば「摂取不足」、上回っていれば「摂取過剰」となります。この目標範囲が維持できるように食生活の改善に向けて参考にしてください。

【表1】目標とするBMIの範囲（18歳以上）

年齢（歳）	目標とするBMI（kg/m²）
18～49	18.5～24.9
50～69	20.0～24.9
70以上	21.5～24.9

BMI（体格指数:Body Mass Index）算出式
BMI＝体重（kg）÷（身長（m）×身長（m））

連載　「医楽のススメ」

「実は老舗なんです。」

精神神経科　天野　雄平

医学部と附属病院の移転10周年おめでとうございます。ついこの間のような気がしますが、もうそんなに経つのですね。今回はそれにちなんで、岐阜大学医学部附属病院の歩みについてお話ししたいと思います。まず当院のなれ初めですが、国内の大学病院の中でも古く、明治8年（1875）に地元の医師らの請願により、岐阜県公立病院として開設されたことにさかのぼります。実は今年で創立139年の老舗なのですね。ちなみに同年創業の同い年の会社としては、サザエさんや日曜劇場（「半沢直樹」「JIN－仁－」など）の提供でおなじみの東芝やノーベル化学賞を受賞した田中耕一さんの所属する島津製作所、面白いところでは静岡土産として有名なわさび漬の田丸屋などがあります。なお前2社はCTやレントゲン装置などの医療機械も作っており、病院とも縁が深いと言えます。

その後、昭和19年（1944）に戦時中の医師不足を補うため、岐阜県立女子医学専門学校が開設され、その附属病院となります。なんと、当初は女子校だったのですね。ちなみに当時の診療科は内（第一・第二）・外（第一・第二）・耳鼻・小児・眼・産婦人・X線（今の放射線科に相当）・皮膚泌尿器（当時は皮膚と泌尿器が一緒でした）で現在よりだいぶ小規模でした。戦火をくぐり抜けた昭和22年（1947）には一度、廃校になりかけるのですが、当時の関係者の奮闘により、辛くも存続します。その際のエピソードとしては文部省への陳情費用を捻出するため、女子医学生出演のクラシックバレエ鑑賞会を開いたり、当時日本を占領していたGHQの高官夫人への贈り物として戦争未亡人となった女学生が自身の晴れ着を提供したりといった逸話が残されています。

その後、時代は下り、県立から国立に移管され、岐阜大学と統合されて、同大学の医学部となり、昭和42年（1967）に現在に至る岐阜大学医学部附属病院となります。なお、この年は南アフリカで世界初の心臓移植術の行われた年でもあります。今は更地となってしまいましたが、司町にあった当時の病院は私も研修医生活でお世話になりました。古い建物には戦災の痕が残り、病院につきものの幽霊の噂のある当直室もありましたが、今、振り返ると様々な歴史を経てきた建物なのですね。

そして、平成16年（2004）に現在地に移転して10周年を迎えます。この間の医学界の大ニュースはやはり山中伸弥博士のiPS細胞の発見が挙げられるでしょう。今年9月にはiPS細胞を使った初の移植術（眼の網膜組織）が行われ、「見え方が明るくなった。」という患者さんのコメントも記憶に新しいところです。当院も先人の歴史を受け継ぎ、今後も多くの患者さんの未来を明るくするような病院として発展していってほしいですね。

▲在りし日の司町の旧大学病院
（岐阜大学医学部50年史・附属病院120年史より抜粋）

看護部コラム

赤ちゃんとご家族にあたたかく思いやりのある看護の提供を目指して

新生児集中治療部看護師長　江崎　美記

岐阜県では、安全・安心な周産期医療が提供できる体制の整備を進めており、当院の新生児集中治療部は、周産期医療支援病院として平成24年4月に設置されました。NICU病床（新生児集中治療管理室）6床、GCU病床（回復期治療室）6床の合計12床があります。診療科は小児科ですが、産科との連携を図っています。

1．どのような赤ちゃんが入院するの？

現在、妊娠週数30週以上で推定体重1,000g以上の赤ちゃんを受け入れています。予定より早く生まれた赤ちゃんや小さく生まれた赤ちゃん、呼吸の補助が必要な赤ちゃん、母体合併症の赤ちゃんなどが入院しています。

2．看護で大事にしていることは？

新生児集中ケア認定看護師を含めた看護師23名と看護補助者1名で看護を提供しています。入院している赤ちゃんは日々成長していきます。その赤ちゃんの将来を見据えた成長・発達を支援するケア（ディベロップメンタルケア）を大事にしています。そして、母子愛着形成のためにカンガルーケアも取り入れています。時々、NICU・GCUを退院した赤ちゃんが、大きくなって訪ねて来てくれます。その時私たちは、看護の喜びを感じています。

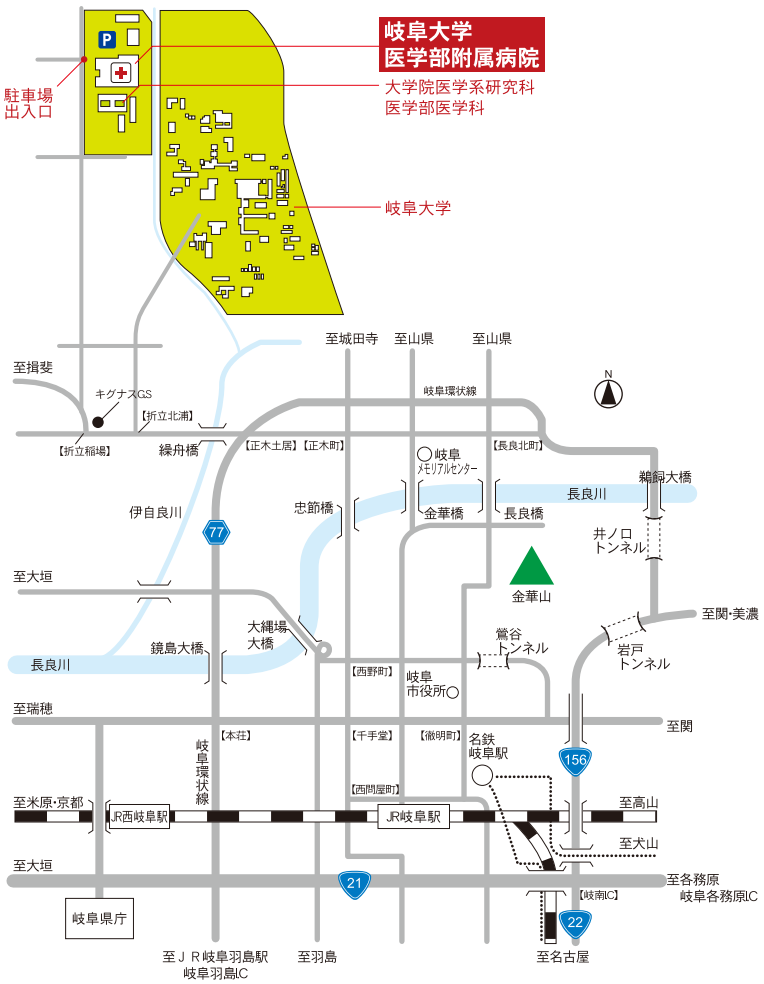
3．地域との連携は？

毎週1回、ソーシャルワーカーとのカンファレンスを行っています。そして、赤ちゃんやご家族が安心して退院できるように多方面より支援しています。

開設後3年目ですが、これからも、看護師一同、力を合わせて心のこもった看護を提供していきたいと思います。

▲新生児集中治療部内の様子

●位置図



医療連携センターの紹介

医療連携センターでは、表に示す患者さんやご家族からの相談をお受けしています。

医療連携センターは、病院玄関近くにあり、12人のスタッフがお待ちしています。

相談は、できるだけ事前に電話等で相談日時を予約の上、お越しいただきますようお願いいたします。

その他、医療機関からのFAXを利用した患者さんの診療等予約（午前８時30分から午後５時）も行っています。

相談内容	相談時間等	相　談　内　容　等
女性専門相談	予約制（有料）	女性医療スタッフによる健康相談
看護相談	9:00～17:00	患者さんとご家族の療養についての相談 在宅看護・退院に伴う相談
医療福祉相談	9:00～17:00	医療費・生活費などの経済的問題や社会福祉制度の相談 療養生活、転院、退院に伴う相談
がん相談	9:00～17:00	がんに関わる医療やがん患者さんの生活についての相談
セカンドオピニオン	予約制（有料）	診断や治療法について主治医以外の意見を聞くことに関する相談
要望、苦情等	9:00～17:00	診療についての要望、苦情等の受付

医療連携センター　TEL 058-230-7033　　FAX 058-230-7035

●病院へのアクセス

◇鉄道をご利用の方

JR東海で「岐阜駅」下車

名古屋鉄道で「名鉄岐阜駅」下車

◇バスをご利用の方

岐阜バス

岐阜大学病院線・岐南町線で「JR岐阜駅前、名鉄岐阜駅前」乗車、岐阜大学病院下車　所要時間30～40分

（運賃：JR岐阜駅、名鉄岐阜駅から320円）

◇タクシーをご利用の方

JR岐阜駅、名鉄岐阜駅から約20分

（約3,000円）

●病院駐車場のご案内

本院では、約500台が駐車できる外来患者駐車場を用意しています。

【駐車整理料金等】

○外来患者：受診日当日……無料

○入院患者：入・退院日当日……無料

◇確認の時間・場所

外来患者さん及び入・退院患者さんは、受診等当日に駐車整理券を以下の時間、場所に提示し、確認を受けてください。

- 外来患者：平日8時30分～17時15分（１階会計窓口）
- 入・退院患者：平日8時30分～17時（１階入退院受付）
- その他の時間　（１階夜間受付）

○一般外来者（面会・お見舞い・付き添い者他）

- 入構から30分まで……無料
- 入構から30分を超え90分まで ……200円
- 入構から30分を超え24時間まで
  200円に90分を超える1時間までごとに100円を加算した額。ただし、その額が500円を超えることとなる場合は500円
- 入構から24時間を超える場合
  500円に24時間までごとに500円を加算した額

なお、入院中に駐車されている場合（入・退院日当日を除く。）は、1日あたり500円の駐車整理料金をお支払いいただくことになります。

（ご注意）

駐車整理料金は、現金または病院内で販売されているサーブ（IC）カードで精算願います。現金での料金精算には小銭が必要となりますので、予めご用意願います。（1万円札・5千円札・2千円札は使用できません。）

鵜舟 ubune

病院広報　鵜舟第22号
平成26年12月発行
発行／岐阜大学大学院医学系研究科・医学部情報委員会附属病院部会
〒501-1194 岐阜市柳戸1番1　TEL(058)230-6000(代表)
岐阜大学医学部附属病院ホームページアドレス　http://hosp.gifu-u.ac.jp
◎鵜舟へのご意見ご感想をお待ちしております。　Email hwebmstr@gifu-u.ac.jp

VEGETABLE OIL INK　この印刷物は環境に優しい植物性インキを使用しています。